

カタロにて **プリザーブドフラワー シェリー**

日時: **7月 23日(土)・25日(月)**  
**13:00~15:00**

体験: 3,000円 (全て込み エンジェルアレンジ)  
 \*生花のもたない夏はプリザーブドのアレンジで爽やかにトライアングルアレンジです。仏花にもなります。  
 \*おむつケーキレッスンいたします。(¥3500~)  
 赤ちゃんのお誕生のお祝いはいかがでしょうか?

お問合せ・お申込み:  
 片岡 090-7267-4498  
 HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

カタロにて **韓国語講座**

日時: **7月 11日(月)・25日(月)**  
**10:00~11:30**

会費: 3,500円

講師 邊 美仙  
 韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業。

お問合せ・お申込み  
 篠崎 080-5543-7489

カタロにて **ピースアクセサリー C-コレクション きらきら工房**

7月 8日(金) 10:15~16:00  
 9日(土) 10:00~14:00

今年も恒例のピース展示即売会を2日間にわたって開催します。  
 たくさん素敵なアクセサリーをそろえて、みなさまのお越しをお待ちしています。

お問合せ いずみ 090-4841-9820

カタロにて **ウェディングブーケ展示&フラワーアレンジ即売会**

アーティフィシャルフラワー=枯れないお花  
 お花のある暮らしがお手軽に楽しめるすてきなアレンジメントや  
 パーティードレス\*成人式振袖にぴったりの各種髪ざりなどを  
 手頃な価格から取り揃えております。

7月16日(土)~18日(月祝)  
 10:30~17:00 最終日 16:00

お問合せ アトリエ びばーな  
<http://www.biba-na.com> E-mail [info@biba-na.com](mailto:info@biba-na.com)

# カタロ通信

VOI.161  
 2011年 7月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

**(株)北澤工務店**

301-0855  
 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7  
 TEL: 0297-60-1333  
 FAX: 0297-60-1311  
 e-mail: info@e-kitazawa.com

**カタロ**

301-0855  
 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12  
 TEL: 0297-60-1666  
 閉館日: 水曜日  
 e-mail: kataro@e-kitazawa.com

**甘味café 空~くろ~**

301-0855  
 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12  
 TEL: 0297-63-0730  
 定休日: 水曜日  
 e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号

## 5月吉日、Y様邸地鎮祭を執り行ないました。



5月吉日、素晴らしい青空の下、龍ヶ崎市Y様邸の地鎮祭を執り行ないました。  
 新築をするに当たり、御神木の大きなかりんの木を移動しました。新しい場所で根付いてくれるように、御神木も祈祷して頂きました。  
 これから、Y様邸の家づくりが始まります。

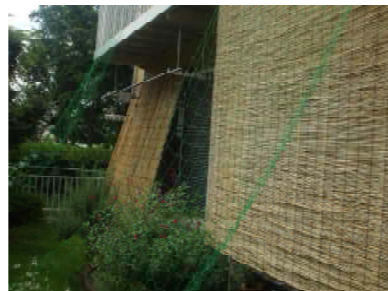
ぼちゃぼちゃミセス コーナー

### 節電対策は「よしず」で!

「節電」にはよしずがいろいろと聞いたので、ネットで調べてみました。

夏は窓から熱が入ってきます。そこで大切なのが、日除けをして窓から入る日射を遮断し、熱の侵入を防ぐこと。これからの季節は日中の日差しも西日も強くなりますから、その熱をカットするだけで涼しさが違い、冷房効率も高まります。

日除けする方法には、カーテン、ブラインド、遮光フィルム(北澤工務店事務所・甘味処「空」ではガラスコートを使用しています。)、すだれ、よしずなどがあります。直接日光が当たるわけですから、日除け自体も暖まって熱を帯びます。カーテンは帯びた熱を室内に発しますが、すだれやよしずは室外に設置するため、余計な熱が入りません。特によしずは大きいので、窓辺だけでなく壁に当たる日射も遮り、断熱効果が高まります。よしずは建物に斜めに立てかけるので、開口部が大きくて風通しがかなり良い。すだれも、窓辺から数十センチ離して取り付けられるので、風通しは抜群だそうです。また、レースのカーテンに比べ、すだれやよしずのほうが目隠し効果が高く、中から外はよく見えるのに、外から中はほとんど見えません。(ただし、いずれも夜間の点灯した室内は見えてしまいますのでご注意ください) さらに地面に打ち水をすると、室内に入ってくる風が2℃程下がるそうです。外の気温が室内よりも低くなる夕方以降はよしずを畳んだほうが涼しくなるので、さっと畳んで端に寄せておくといいそうです。すだれやよしずの周囲に植物を配置しておく、葉から蒸散する水分で周囲の温度を下げる動きがあるそうです。さらに風鈴を下げれば、涼風の心地良さをより一層感じることができそうですよ!日本の知恵を活かして、節電対策をはいかがでしょうか?  
 ~暮らしの歳時記より~



これを踏ませて早速に節電、暑さ対策を実施!  
 和室前にはすだれを。リビングの前は常にあると視線の邪魔になる事もあるかなとよしずを。緑のネットにはゴーヤとキュウリを植えました。写真が小さくて見にくいかもしれませんが南部風鈴も下げてあります。これで少しは涼しく生活できるかな?? 今一番うれしいのはきゅうりがなってくれたこと。「赤ちゃんきゅうりがとってもかわいい!!」きゅうり大好き娘が「早く食べたいね」と。一石二鳥の暑さ対策!

皆様の生活に役立つ情報を記載していくコーナーです。担当は北澤工務店のぼちゃぼちゃミセスこと黒木です。



…北澤工務店&甘味Cafe空~くろ~から…

7月 空のミニショップは・・・  
 『クリスタルエンジェル』 ~ アクセサリー  
 『プチ工房』 ~ 木のおもちゃ





# 京都 井辻瓦店のかわらぶき職人さん参上!

たくさんの方のご縁つながりで、京都の井辻瓦屋様からかわらぶき職人さんが2名、龍ヶ崎市に住み込みで来ていただきました。

『社長が「もう帰っていい」って言うまで、がんばらせてもらいますから!!!』と、なんとうれしいことをおっしゃってくださるふくださん。

その横でニコニコといつも笑顔のなかやさん。



復旧現場の様子



井辻瓦の社長さんが、茨城に来るにあたり、数十万円もする新品のパワーリフトを持たせてくれてそうです。



屋根の仕上げに、雨樋に詰まった土を取り除いてくれています。

地元京都とは施工方法が違うらしく、多少の戸惑いもあるようですが、さっそく屋根瓦崩落現場の復旧をしていただきました。

「茨城は暑いね!」「瓦も乗った瞬間に熱いね。京都はいぶし瓦を使っているので15分はもつんやけどね!」と、瓦のことをいろいろ教えていただきました。

京都の瓦は包むような形でもっと簡単に施工しているそうです。この辺は丁寧に時間をかけて葺いているのが素晴らしいとのこと。井辻瓦さんでは屋根を葺く時の土は自社で作っているそうです。地元の土を購入し、藁を混ぜて腐らせた土を使うそうです。割れない・ひびが入らない土。つまり瓦との接着力が強く、何かあった時には瓦だけが落ちるのではなく、土ごと落ちるように考えているそうです。今回茨城に来るに当たってこちらの施工方法を勉強し、どんなやり方がいいのか実験してきたそうです。

取材にお伺いした日も、ベストなやり方を社長と検討していました。

きっと今はベストな施工と職人技で復旧工事が進んでいることでしょう!



なかやさんのピンチヒッター いしやまさん  
この日外気温 34度  
屋根の上はフライパン状態!

「でも、ホントね、屋根が余りにも悲惨ですわ。シートが傷んで腰の曲がったおばあちゃんが屋根の上に乗って話聴きました。雨漏りだけでも治しましょうかと、お声をかけた家には年金暮らしで一人で住んでられるおばあちゃん。1年でも2年でも待つから一番安いので!との答え。いろんなことが悲惨です。」と、心を痛めながらも、「またね、家に帰って奥さんがいないのがこたえるんですわ!」と、「家に帰ったら『風呂・めし・寝る』しか話さんですわ! 洗濯・掃除・ご飯の支度・風呂洗い、いろんなことしてくれていたんだなあ。奥さんのありがたみが良くわかりました。」と京都弁で話す福田さん。蒸し暑い茨城で頑張ってくださいっています。

「日焼けして真っ黒ですね。」の問いに、「瓦職人で色が白かったらニセモノですわ!」と、きっと今日も元気に屋根の上で復旧工事をしてくれています。

職人さんにご不便をお掛けし、又、奥様も生活面や被災地という環境で心配されているんだらうなあと、申し訳ない気持ちでいっぱいですが、今回の災害で大変な思いをしている方のために、宜しく願い致します。

北澤工務店一同



## おさむのひとりごと



毎度毎度のことにはなりますが、本当に時間が経つのは早いです。3月11日にあの『東日本大震災』がぼくたちを襲ってから、4ヶ月が経とうとしています。町の流れは、まるで何事もなかったような雰囲気だ。コンビニの棚から商品が消えたことも、ガソリンスタンドに2時間も並んだことも、まるで遠い昔のようにさを感じる。

でも、ぼくにとっての『東日本大震災』は、まだまだそのままです。屋根瓦が落ちてしまったブルーシートの家、家、家……。瓦職人さんの姿は一日に一度見るかどうか。紫外線にやられた土嚢袋は破れ、強風にあおられたブルーシートは舞い、その無残な姿を見るたび『いったいいつになったら……。』と、ため息さえ漏れてしまうことがある。

でもしかし、着実に一步一步直ってきているのも事実です。北澤工務店のOB施主様宅も着実に治ってきています。その一連の流れの中に数々のドラマがあります。今回はその中のひとつ、『あきちゃんとの出会い』を書いてみたいと思います。



(あきちゃんとの出会い)

見ず知らずだったあきちゃんを紹介してくれたのは、岡部美さんのセミナーで一緒だったkikiちゃんとおみちゃん。おふたりともなかなか味わい深い???人生を送られている方で、とっても素敵な女性です。中でもkikiちゃんは奈良組と山梨組の屋根瓦修復現場にボランティアでお手伝いに来てくれています。『おさむちゃんに紹介したい人がいるのよ! 男前には男前を紹介しようと思って!! きっとチカラになってくれるわ!!!』

彼女たちが飲んでいる席にお邪魔したのは、門前仲町のとあるお店。そこに、ひげを生やした巨漢のあきちゃんがいきました。初めてお会いするのに、なんだか懐かしささえ感じさせる雰囲気。いであちがまた畑仕事から出てきたような感じで、気取らない性分を感じさせました。

ふたりの素敵な女性に囲まれているあきちゃんに若干のジェラシー???を感じながら、今回の震災のこと、ぼくがいまやっていること、なんとしてもご先祖様を迎えるお盆までに完了させたいこと、このままでは到底そんな目標は達成できないこと、などを伝えました。

実は彼、新潟の総合建設業高橋組の4代目。田中角栄の列島改造論からハブルと、一時期は新潟を代表する会社にまで成長した立派な会社の後とり息子です。がしかし、ぼくとひと回り違う彼がユニークなのは、そのままフツーにやっていたらいいものを、『異和感』を感じたんですね。『ぼくはもっと自然で在りたい。』『自然と一体になりたい。』って。そりゃ、生き馬の目を抜く総合建設業ですから、そんなこと言っちゃられませんわな。で、彼が設立したのが『小舟渡自然農法研究所』。へえ~!!!って感じです。巨漢の中ににじみ出るやさしさ・思いやり・やわらかさは、そこからきているんだなあ、としみじみ納得したのでした。ぜひネットで検索してみてください。



ぼくの状況や要望を聞いた彼は 『約束はできませんけど、やるだけのことはやってみますよ。』とってくださいました。瓦職人さんを紹介してくださいというのです。『あきちゃんは、やるって言ったらやるひとだから、きつといい方向にいくよ!!!』とご満悦の女性陣。すっごくうれしいんですけど、反面、もてる男ってのは、違うなあ...とまたまたジェラシー××!!!

翌日、飲み過ぎたおみちゃんは自宅待機(笑)。kikiちゃん

共に当地龍ヶ崎に来てくれました。彼が見たブルーシートの屋根、屋根、屋根……。『来てよかったです。ぼくもなんとかしたい、って強く思いました。約束はできませんけど、できるだけことはやってみます。』とおきちゃん。穏やかな風貌の中に燃える眼差しを感じました。

(あきちゃんは動いた) 彼は新潟に帰ると、早速段取りを整え、二日後にはぼく自身が新潟に向かうことに。そして話はトントン拍子に進み、中村瓦さん、藤田瓦さん、北越工業さんと、なんと3社も来てくださる事になったではないですか!!! すごいい!!! さらにすごいのは、3社とも、総合建設業である高橋組とは関係がない業者さんだったことです。あきちゃんが自らの地縁知縁をたどってつながってくださったのです。藤田瓦さん、北越工業さんにとっては、あきちゃんも初めて会うと! そこまで段取りをするには、あきちゃん、相当なエネルギーを振り絞ってくださったに違いありません。これってほんと、すごくないですか!!!! 遠い茨城の震災復旧を、彼は自らのことのように走り回ってくれた。『おさむさんがぼくに火をつけたんですよ』と控えめな言葉に、彼の奥深さをまた感じたのです。



交渉がすべて終わったその帰り道。『おさむさん、きょうはすっごくうれしいきもちなんで、ドライブしましょうか。とっておきの場所があるんですよ。』

新潟県は日本海に沈む夕日が綺麗なことで有名です。その代表的な名所『笹川流れ』に連れていってくれました。静かに広がる日本海を言葉少なに味わいながらのドライブ。ぼくは、あの頃を想い出していました。20歳のときの命懸けの旅、『日本縦断徒歩旅行』を。そのエピソードの数々は以前にも紹介させていただきました。それにしてもこのタイミングで、この日本海に来るとは!!!

笹川流れは、人工物のない海岸線に奇岩が広がる美しい場所です。粟島がはっきりと見える見晴らしのいい場所に車を止めました。オトコふたり……。いろいろな話をしました。こういう時って、ところが完璧に開きますよね。ぼくが毎年行っている富士山にも一緒に登りたい、なんてあきちゃん。夕日にはちょうどいい時間帯でしたが、残念ながら雲が広がっていました。でもほんのわずか、海面から上が白く透き通って見える。『あきちゃん、見えるかもよ』とぼく。『見えませんよ、きっと』とおきちゃん。ふたりにタバコをふかしながら、その瞬間を待ちました。

まん丸な太陽が、周りの雲を深いオレンジ色に焼きながら、ジュワ〜ッと音が聞こえるほど見事に、沈んでいく……。『こんなにきれいな夕日、何年ぶりだろう』とおきちゃん。『おさむさん、ぜったいうまくいきますよ。目標が達成できたら、富士山の頂上で乾杯しましょうよ!!!』おへ、なんと素晴らしいことを!!!



オトコふたりで日本海に沈む見事な夕日。忘れ難い、最高の体験をさせていただきました。

(やっぱり『つながり』) ぼくの東日本大震災は、ひとが生きる中で一番大切なものを教えてくれています。それは、ありきたりの言葉かもしれないけれど、『つながり』です。これに尽きます。この『つながり』に救われ、支えられました。人を信じる力、自分を信じる力。8月のお盆まであとわずか。たくさんの人に支えていただいた恩に報いるのはただ一つ、『自分の娘に振り袖を着せたような家づくり』の傷ついた娘たちを、治すことです。